

## 担当された事件の概要等

### 1 裁判員（40代女性）

ホームセンターで買い物中の被害者に対し、殺意をもって、背後から左背部を三徳包丁で1回突き刺したが、全治まで約1週間を要する背部刺創の傷害を負わせたにとどまった殺人未遂事件

主な争点：犯人性

期 間：平成22年5月から6月 公判審理2日間、評議1日間(判決期日を含む。以下同じ。)

第1回公判は選任手続と同日

判 決：懲役10年

### 2 裁判員（50代女性）

夜間、被害者を転倒させるなどして反抗を抑圧した上、現金13,000円を強取し、引き続き、被害者方で脅迫して反抗を抑圧した上、キャッシュカード1枚を強取し、被害者を転倒させる暴行により全治約1週間を要する右膝前方擦過傷の傷害を負わせた強盗致傷事件

主な争点：実行行為の有無

期 間：平成25年6月 公判審理3日間、評議2日間

第1回公判は選任手続の5日後（中2日間は土日）

判 決：懲役6年

※裁判員裁判非対象事件（窃盗）の併合審理あり。

### 3 裁判員（50代女性）

被害者らとけんかになり、殴られるなどしたため普通貨物自動車に乗車して逃走しようとしたところ、被害者は背中を同車に接触させて停止させようとした。そして、そのような被害者の姿を認識していたにもかかわらず、自己の身体等を防衛するため、防衛の程度を越え、自車を加速して進行させ、転倒させた上、轢過して傷害を負わせ、失血死させた傷害致死の事件

主な争点：正当防衛の成否

期 間：平成28年12月 公判審理5日間、評議2日間

第1回公判は選任手続の5日後（中2日間は土日）

判 決：懲役5年

※裁判員裁判非対象事件（窃盗）の併合審理あり。

### 4 裁判員（50代男性）

共犯者らと共謀の上、営利の目的で、羽田空港内において、キャリーケースに隠し入れた覚せい剤（約10.9kg）を輸入した覚せい剤取締法、関税法違反事件

主な争点：捜査の適法性、共謀の有無

期 間：平成29年2月から3月 公判審理10日間、評議7日間

第1回公判は選任手続の6日後（中2日間は土日）

判 決：懲役17年、罰金800万円